

タクシー使いパック旅行

中央タクシーワゴン稼働率高める

県内タクシー大手の中央タクシー(長野市、宇都宮市)はタクシー車両で観光地を巡るパック旅行の募集・販売を来週から始める。自宅まで送迎したり、5人以上のグループ客は車両を貸し切りにしたり、小回りの効いたサービスでバス旅行との違いを打ち出す。タクシー会社がバス車両を使いパック旅行を募集する例はあるが、タクシー車両を活用するサービスは県内で初めて。

**2人から催行
自宅まで送迎**



10人乗りのワゴン車両で1車両当たり2～8人の旅行客を運ぶ

合つため、2人からツアーを催行する。「バスで対応できなかった小さな車部品などは受注、生産の減少が続いているとい

11・四半期ぶり改善

製造業業況 県内4月末 電機・電子が回復

長野県が8日まとめた「好転」と答えた。モーターなどは、アジア向け白物家電や在庫調整

3カ月後の予想業況D Iはマイナス23・6で、今回よりも改善する見通

長野県中小企業振興センターがまとめた県内下

の前回調査に比べマイナ

県内下請けの受注改善

中小振興センター 4月末まとめ

えた企業の割合は9・7

「底を脱し

時期尚早

末時点で工

50%以下の

%を占め、

い。当面の

ただし、

「底を脱し

時期尚早

末時点で工

50%以下の

%を占め、

い。当面の

旅行業に参入へ

中央タクシー(長野市)と南安タクシー(安曇野市)が今夏をめぐりに、旅行業に相次いで参入する。ともに近隣の観光地を巡る募集型企画旅行を販売する計画で、既に旅行業として県に登録済み。不況の影響でタクシーの利用者が減少傾向にある中、観光地についての乗務員の知識を有効活用し、経営の安定化を図る。



中央タクシーが旅行ツアーで使用するジャンボタクシー。既存の車両を活用して旅行業に参入する

国内の観光ツアーを企画販売するには県に旅行業の登録を必要があり、社内に旅行業務取扱管理者の有資格者が在籍することが求められる。両社とも社員に有資格者がおり、中央タクシーは3月、南安タクシーは5月に登録を済ませた。

中央タクシーは6月中旬に常連客を募って試験的にスタート。長野市戸隠の神社や温泉を訪ねるツアー、上水内郡飯綱町のワイナリーで食事とワインを楽しむツアーを販売する。長野市内の自宅への送迎、1食付きの日

近隣観光ツアー計画

乗務員の知識活用

帰りで68000～1万28000円。8月をめぐりにタクシーの車内にチラシを掲示するなどして、販売を本格化する。9人乗りのジャンボタクシーを使う計画で、将来的に1日7、8台の稼働が目標という。

南安タクシーは所有するバスで上高地や安曇野市内を巡るツアーを想定。今夏をめぐりにコースを組み立て、自社のホームページで予約を受け付ける計画だ。

中央タクシーの宇都宮社長は「タクシー利用者は全国的に減少が続いている」とした上で、「景気回復を待たずして、自宅への送迎ができることや、少人数の良さを生かした商品を企画したい」と説明。南安タクシーの小岩井清志社長は「どこかで活路を見いだす必要がある。観光も右肩上がりの業界ではないが、地域を知っている強みを発揮したい」としている。